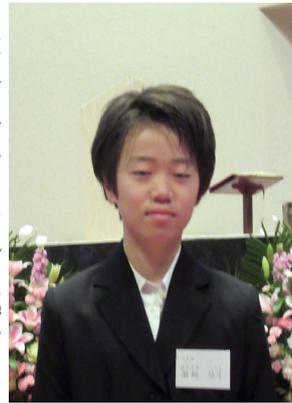




3月2日 7人に堅信の秘跡 世を照らす光に!

堅信は聖霊の恵みをもらうことです。イエス様の御心に満ちていた愛と、いつくしみをいただきます。パウロは『霊の結ぶ実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です』と言いました。イエス様に従って生きていきましょう。ここにいらっしゃるみなさんと堅信の秘跡を受けた7人のために祈ります。(アベイヤ司教のことばから。)



ペトロ 濱崎 昊斗 (こうと)

大人の信者になれた気がしてうれしかったです。長崎のおばあちゃんも「おめでとう」と言っていて泣いていたので、そんなにすごいことなのかと思いました。これまでもいろいろ教えていただいた先生方、また、急なお願いで代父を引き受けていただいた久志さん、本当にありがとうございます。



ドミニク 富田 大雅 (たいが)

自分たち(子ども)だけで受けると思っていたけど、たくさんの方が来ていて、堅信式はとても大切ことなのだと思います。ベトナムの人も来ていて、カトリックは世界に広まっているのだと思いました。久志先生はじめ先生方、皆様ありがとうございます。



ヨセフ 森 傑弥 (たかや)

堅信式を終えて今まで支えてくれたすべての人に感謝を伝えたいと思います。佐世保の俵町教会の先生、ありがとうございます。大名町教会の先生、ありがとうございます。お父さん、お母さん、忙しいときも教会に連れて行ってくださりありがとうございます。これからも頑張ります。



マリア 緒方 美智子

幼児洗礼から、何十年かかけて堅信を受けることができ、光栄です。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも信者として、聖書を学び、祈りながら生活していきます。



小さき花のテレジア 樋口 絹代

幼児洗礼から長い年月を経て、先日、初聖体をいただき、きょう、堅信のお恵みを受けることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも学びながら、祈りながら、教会の一員として祈る生活を続けていきます。



ヨセフ ファム・ヴィン・ヒュー

とてもうれしいです。幸せです。これからもミサに参加して、たくさんお祈りします。



ヨセフ チャン・フン・ナム

緊張しました。私のために祈ってください。ありがとうございます。

堅信 おめでとう!

受聖者のみな様、代父母、関係者のみな様、堅信おめでとうございます。「秘跡」とは、主イエス・キリストによって制定された「目に見えない神の恵みの目に見えるしるし」です。

司教様からの按手、堅信の油を塗油していただいたとき神の恵みを肌で感じる事ができたと思います。堅信の秘跡を受けたことで、入信の秘跡をすべて受け、正式に教会の一員となりました。みなさんの堅信を教会共同体のみんなが待っていました。

この先、いろいろな出来事に遭遇することもあるかと思いますが、そんな時は一緒に堅信の秘跡を受けた仲間、すでに堅信の秘跡を受けた先輩方に相談してください。必ずあなたと一緒に歩いてくれます。また、助けてほしいと声をかけられた時には、ぜひ立ち止まって声を聴いてください。

教会学校 堅信クラス担当  
フランシスコ・ザビエル 宮本 健郎

教会学校

2025年度の入学式・始業式を4月13日(日)の9時30分のミサの後にを行います。新しい子どもたちを迎えます。子どもたちも集まります。保護者のみなさま、ラインでご存じのことと思いますが、ぜひ子どもさんと一緒においでください。子どもたちがいる教会は明るく、楽しいです。教会学校のスタッフ、信徒のみなさんが子どもたちを待っています!! 信徒のみなさん、子供たちに声をかけ、教会共同体の一員として一緒に育てていきましょう。

## 牧山強美神父を迎えて

### 四旬節黙想会

…神さまのこと、イエスさまのことを話したい…

3月29日(土)の午前と夜、30日(日)ミサ後の3回連続きの四旬節黙想会が行われました。

講師は牧山強美神父(旧カトリック神学院院長 サン・スルピス司祭会)。



「私たちは、自分のこと、人間のことも分らないで生きていく。神様は、自分のひとり子をこの世に遣わして、こうしたらいいんだよと語られた。イエス様の中に、人間の姿を捜さなければならぬ。人々を尊重するということは、その人の最も大切な自由を尊重すること。私も隣の人も神様から作られている。神様の方に向かって存在なのだ」と祈りながら、感謝しましょう。」と語られました。また、「イエスの中に人間の姿、あるべき姿が示された。パンを割く、これは私、これはあなたと分け与える。他者のために自分が持っているものを割いて与えていく。これがキリスト教の中心。十字架の死はアガベの愛です。」と。

つづいて、「好き」と「愛する」は違うということについて、夫婦をたよえに話されました。

早速、4名の方から、感想をいただきました。

参加者の感想です。

☆「14年前に亡くなった妻のことが思い出されました。夫婦の愛とは、お互いに自分の全てを捧げることだと話されました。結婚当初は盲目的な感情が優先していたかもしれせん。しかし、お互い物心とも必要な人と、心のどこかで思っていたので、多少の波風はありましたが、結婚生活は続けられたと思います。奇しくも、3月30日は妻の命日です。神父様の話を聴きながら、妻の靈魂のために祈りました。」

☆「ちょうど夫に対して些細なことでも不機嫌な時でもあったので、お話しは『熟年夫婦のための結婚生活維持講座』のようで、興味深く聴き入りました。帰る時には不機嫌さは消えていました。」

☆「愛とは何? 神について知っているだけでは実を結ぶことはない。行わなければ。人間は弱い存在であるという言葉を改めてかみしめました。何回でも聞き、何回でも学び直し続けなければ身についていかなぬもの。ならばこそ神に寄り頼み、キリストに倣う人生を歩んでいきたいと思いました。」

☆「子どもたちに信仰を伝えたいといけません。だれでも放蕩息子のようなところがある。『その生き方はおかしいと言わなければならぬ』と、親としての務めをあえておっしゃったことが心に残りました。」

神様のこと、イエス様のこと、これからの教会のことなど、私たちはどんな生き方をしたらいいかを深く考えさせられた黙想会でした。

3月5日

## 灰の水曜日

四旬節  
始まる

四旬節は、イエス様が公生活を始める前に悪魔の誘惑を受けながら、40日にわたって断食されたことに因みます。「灰の水曜日」は、主の復活の主日からさかのぼった日曜日を除いた40日前の水曜日です。この日、イエス様のエルサレム入場を記念して、一年前の「枝の主日」にいただいた棕櫚の枝を燃やした灰を、「回心して福音を信じなさい」と、司祭から頭にかけていただきます。

今年、3月5日、主司祭の昌川信雄神父は説教で、「自分は何に価値観を置いているか、何に支配されているかを知ることです。償いと犠牲と祈りをしましょう。自我に死んで聖霊を頂きましょう。回心するか、自我にしがみついて滅びゆくかです。十字架とは、体に執着せず、自由な心で、神さまに向かうことです。この世の自我に死んで、神さまに向かうことです。四旬節で神様の恵みをいただくよう、聖母のとりなしを願って過ごしましょう。私たちは弱い存在で、救ってくださいるの神さまだけです。回心し、償いと犠牲と祈りの日々を過ごしていきましよう。」と話されました。



## ふれあいのつどい || スマホの使い方

参加されたみなさんが、自分のスマホで、福岡教区のホームページ、カトリック中央協議会やバチカンニュース、教区行事のライブ配信、日ごとの福音をすぐ見ることができるよう、中高生や青年たちに手伝ってもらい設定しました。

「知らなかつたことを知ることができ、出来るようになってよかった」ともためになり、楽しかった・定期的に行ってほしい」との感謝の言葉がありました。

## WYDの十字架

4月29日(火・祝日)14時から旧カトリック神学院で「WYD(ワールド・ユース・デー)ソウル2027大会の十字架およびイコンの日本国内巡回 記念ミサ」が開催されます。WYDは教皇ヨハネ・パウロ2世の提唱で始まった青年カトリック信者の集会で、世界中から何十万人もの青年が集まります。2023年ポルトガルのリスボン大会の次は2027年韓国ソウルで開催されます。その時掲げられる十字架とイコンが世界各地を回ります。4月29日に神学院でその十字架(イエス様の像と十字架、台座で約100キロ)とイコンを迎えて記念ミサがあります。ミサに与り、青年たちの上に神様の豊かなお恵みがあるように、またWYDソウル大会の成功のために、お祈りを捧げましょう。

大阪、東京を経て、アジアやオセアニアの国々を回って2027年開催地のソウルの会場に掲げられます。

# 宣教司牧評議会

(3月16日)

## ◆議題

- 1 信徒総会：5月25日(日) 9時30分のミサ後
  - 2 2025年小教区年間テーマ：7月1日より教区宣教司牧方針の「未来に開かれた教会」と同じ
  - 3 夏祭りを企画。外国語ミサG、青年会主体で計画・準備の方向。英語ミサGの了承済み
  - 4 次期評議員の選考方法  
選考方法検討委員会の立ち上げ。前回の選考委員にも参加を呼びかけ
  - 5 復活祭準備
  - 1 枝の収集：司教館100本、旧神学院200本、駐車場30本計330本
  - 2 枝洗い：4月12日(土) 10:00
  - 3 卵の準備：750個(含む外国語ミサG)
  - 4 祝賀会：120名分を予定
  - 6 4月6日(日) 大掃除
- ◆報告事項
- I 各委員会
- ① 駐車場委員会
    - ・3月23日(日)に駐車場利用規程の信徒説明会を実施
    - ・4月1日より駐車場利用登録申込書の受付開始
    - ・5月1日より駐車許可証による運用開始
  - ② カテドラル・センター利用規程とお通夜・信徒会館使用取り決めは、事務室に保管。閲覧できるように整備
  - ③ 9月23日(火・祝日) 予定の巡礼下見の報告

・訪問先：①島崎教会 ②花岡山殉教者記念碑(大型バス乗り入れ不可が判明) ③八代教会 ④古城児童公園

II 各別活動

① 典礼部：聖週間

- ・聖木曜日(主の晩さんの夕べのミサ) 4月17日(木) 19時ミサ：アベイヤ司教司式 洗足式、聖体安置式
- ・聖金曜日(主の受難) 4月18日(金) 19時 みことばの祭儀：アベイヤ司教司式
- ・聖土曜日(復活徹夜祭) 4月19日(土) 19時ミサ・入信の秘跡：アベイヤ司教司式

光の祭儀：ろうそくは各自持参

・復活の主日 4月20日(日) 10時ミサ：アベイヤ司教(畠山七郎神父) 入信の秘跡ミサ後、司教金祝、畠山神父70周年受洗者・受堅者の祝賀会

② 営繕部：大聖堂天井照明器具等の改修工事について

2月15日(土) 17時～18時大聖堂の照度測定実施。暗いという意見。改修工事(案)の概要と見積の比較。教区創立100周年を迎えるにあたり、「福岡カテドラル・センター」大聖堂に相応しい照明であるか否か、教区と委員会を設置し協議する

③ 財務部：2024年度営繕工事代金9,578,360円の内50% 4,789,180円を教区援助金として受領

④ その他

- ・3月9日(日) メールボックスの整理を実施



## 十字架の道行き お参加ください。

イエスは、私たち人間の救いのために十字架の道を歩きました。その苦難の道を黙想し、わたしたちへのあふれる愛を深く心に留めて、金曜日15時から「十字架の道行き」の祈りを続けています。4日、11日も祈ります。



## 大名町教会の現勢 3月

【転出】お元気で(教区・教会へ)  
・アンナ 綿引 栄子(東京・市川)  
・ミカエル 川下 君年(長崎・神ノ島)

【帰天】永遠の安息をお祈りします  
3月18日  
・カタリナ 西久保 フミエ

## 駐車場利用について。

信徒のみなさんで車を利用されている方は「駐車場利用登録申込書」を提出してください。説明会に出席されていない方は、申込書をもらってください。6日(日)、13日(日)はミサ後、1階講堂で申込書受付を行います。申込書をもとに、後日、「駐車許可書」が渡されます。また、出庫は教会駐車場南側(明治通り側)の歩道・車道でのトラブルを避けるため、駐車場北側から出庫してください。矢印通り移動し、右折してください。



## 修道院での聖なる三日間

もうすぐ聖週間が始まり、そして典礼暦年の頂点である「聖なる三日間」が待っています。もちろんその中心は復活徹夜祭ですが、わたしたち礼拝会会員にとって、「聖木曜日」は特別な意味をもって大切に祈り、祝っています。なぜかといえば、「聖木曜日」には、洗足と聖体の制定という最後の晩餐で、わたしたちに示されたキリストの極みまでの愛を直接に記念し、感謝します。それは、わたしたちの正式名称であり、アイデンティティでもある「聖体と愛徳のはしため礼拝修道女会」の源泉であるからです。

聖木曜日をどのように祝うかは、各共同体によって様々ですが、まず初めに聖堂を美しく飾ります。そして教会で祭式にあずかる前に『アガペ』をする共同体があります。そのテーマは、「姉妹的一致」や「すべての人を招く主の食卓」など、担当者は工夫を凝らした会食を整えます。教会から帰り、仮祭壇の前で主の過ぎ越しの一つ一つとその意味を思い起こし祈ります。聖金曜日には、花もすべての飾りも取り除かれたガラソンとした聖堂に、十字架だけが残ります。こうして視覚的な助けもかり、わたしたちは主の死を黙想しながら一日を過ごし、復活を待ちます。教会はわたしたちに美しい典礼を残してくれました。それを毎年ただ繰り返すのでなく、ラセン状に、その核心に向けて深めてゆきたいと思っています。

礼拝会 福岡修道院  
マリアクララ 豊田 早苗